

水田畦畔除草剤一覧

1 農薬登録状況の確認

登録内容は2020年7月1日現在

農薬の登録内容については、下記のホームページ等で最新の情報を確認する。

農林水産消費安全技術センター 農薬登録情報提供システム

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

2. 水田畦畔（除草剤）

除草剤名 (登載年)	成分 (%)	作用特性 [化合物の種類]
ブリグロックSL マイゼット (1988)	ジクワット 7.0 パラコート 5.0	[ジピリジル系] ・非ホルモン型接触性 一部移行性あり ・土壌中では短時間で不活性化 ・魚毒性A
バスタ液剤 (1988)	グルホシネート 18.5	[酸アミド系] ・非ホルモン型吸収移行性 ・非選択性 ・遅効性
ザクサ液剤 (2014)	グルホシネートPナトリウム塩 11.5	・茎葉部より吸収 ・残効性中 ・魚毒性A
草枯らし（液剤） (2001)	グリホサートイソプロピルアミン塩 41.0	[酸アミド系] ・非ホルモン型吸収移行性 ・非選択性 ・遅効性 ・茎葉部より吸収移行 ・残効性長 ・植物体内の移行性大 ・魚毒性A
タッチダウン i Q (2007)	グリホサートカリウム塩 43.0	同 上
ラウンドアップマックスロード (2009)	グリホサートカリウム塩 48.0	同 上
ラウンドアップマックスロード 少量散布 (2020)	グリホサートカリウム塩 48.0	同 上 ※10a当たり5L/25L散布 専用ノズルを使用すること
サンダーボルト007 (2008)	グリホサートイソプロピルアミン塩 30.0 ピラフルフェンエチル 0.16	同 上
ダイロンゾル (2020)	3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素 50.0	[尿素系] ・光合成阻害

3. 水田畦畔（抑草剤）

除草剤名 (登載年)	成分 (%)	作用特性 [化合物の種類]
グラスショット液剤 (2000)	ビスピリパックナトリウム塩 3.0	[ピリミジルカルボン酸系] ・抑草剤 ・茎葉部より吸収移行 ・魚毒性A
クサピカフロアブル (2005)	グリホサートイソプロピルアミン塩 8.0 MCPBエチル 4.0	[酸アミド系] ・非ホルモン型吸収移行性 ・非選択性 ・遅効性 ・茎葉部より吸収 ・残効性長 ・魚毒性A ※MCPBは水稲用除草剤の項を参照